

あなたの声を
実現します

徹底現場主義!



県議会2月定例会は3月25日に閉会し、予算7,329億円余の令和7年度岩手県予算が可決成立しました。代表質問、予算特別委員会では「徹底現場主義」で把握した県北地域の課題を議場に持ち込み議論を行いました。

私たちの住む地域を未来に向かって持続発展可能にしていくためには、災害に強く医療介護福祉が充実した、暮らしの安心安全を

守る地域づくり、そして、少子化対策、産業振興、若年層や女性を始め、あらゆる世代が活躍できる環境を積極的に構築していく施策が必要です。直面する一つ一つの課題の解決のために、これからも全力を尽くして参ります。今後ともご指導よろしく申し上げます。

なかたい

岩手県議会議員 中平ひとし

代表質問(2月20日)の主な内容について(あわせて質問に関する主な事業・予算を記載)

■ 道路ネットワークの整備

【質問】久慈内陸道路の早期の実現への取組、国道281号案内～戸呂町口工区のトンネル本体着工について。

【答弁】久慈内陸道路は、引き続き沿線市町村と丁寧に意見交換し、葛巻町内のルート検討の精度を更に高めていく。

国道281号案内～戸呂町口工区については、令和7年度は、早期のトンネル工事着手に取り組む。

※令和7年度予算

地域連携道路整備事業 案内～戸呂町口工区 5億9,200万円

■ 農業の振興

【質問】米の新品種「白銀のひかり」の普及および販売戦略について伺う。

【答弁】令和10年に「白銀のひかり」作付面積1,500ヘクタールを目指す。本格生産・販売を開始する令和7年度は、栽培研究会を設立し、米卸業者などの産地招へいや、県内消費者へPRし、認知度の向上と販路開拓を進める。「白銀のひかり」が、その名のとおり、本県の稲作を照らす希望の「ひかり」となるよう、関係機関、団体が丸となって取り組んでいく。

※令和7年度予算 オリジナル水稻新品種プロモーション事業費 300万円



中平ひとし プロフィール

昭和46年久慈市生まれ、久慈市在住53歳。平成15年に岩手県議会議員初当選、現在5期目。

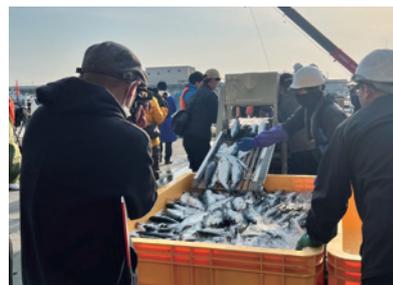
岩手県監査委員、岩手県議会県土整備委員会委員長・議会運営委員会委員長・岩手県議会副議長を歴任。

■ 水産業の振興

【質問】水産業についての知事の危機意識と、どう対策を講じていくのか。

【答弁】主要魚種の不漁に、黒潮大蛇行で海水温が平年より約6℃高い状態が続く危機的状況を克服することが必要。「水産業リボーン宣言」に基づく取組を推進していく。ウニの蓄養・出荷は、令和6年度15漁協に拡大。サケ・マス類海面養殖は、令和7年度約3,000トンの生産を計画し、着実に広がっている。漁村地域を活性化していく「海業」のビジネスモデルづくり等も進め、漁業者、関係団体等と一丸となり、危機を克服できるよう全力で取り組む。

※令和7年度予算 漁村再生事業 侍浜漁場 桑畑・川津内地区 1億6,000万円



4/20琥珀サーモン今期初水揚げ

■ 浮体式洋上風力発電について

【質問】浮体式洋上風力発電の事業化は、県北振興にどのような効果・影響があると考えているか。

【答弁】浮体式洋上風力発電は事業規模が大きく、産業の裾野が広いことから、地域特性を踏まえた関連産業の育成や人材育成の取組につなげていくことにより、経済効果を含めた、多様な面から県北振興に大きく貢献することが期待できる。

※令和7年度予算 海洋エネルギー関連産業創出推進事業費 400万円

【質問】久慈港長期構想について

【答弁】令和7年6月に策定予定の久慈港長期構想には、新たな地域産業・雇用の創出を目指す観点から、浮体式洋上風力発電の物流拠点形成することを盛り込んでいる。また、策定後は、久慈港港湾計画の変更に着手。公共ふ頭の拡張、養殖業の拡大、その他の各種取組の実現に関係者と連携していく。

■ 災害対応について



令和6年8月台風5号災害の復旧工事状況(長内川・小久慈地区)

【質問】安心安全な地域をつくっていくための今後の取組方針について。

【答弁】令和元年台風第19号で被災した久慈市小屋畑川など、浸水被害が発生した区間や、資産の集中している区間等における河川改修や堆積土砂の撤去等のハード対策を着実に進めていく。また、ソフト施策として、洪水浸水想定区域指定を令和7年度末までに完了させ、防災情報の充実強化など取組も進め、引き続き、「流域治水」の考え方の下、ハード・ソフト施策を効果的に組み合わせた防災、減災対策に取り組む。

※令和7年度予算 浸水対策重点地域緊急事業 小屋畑川 15億3,730万円 河川海岸等維持修繕費 河道掘削6,700万円

[久慈市治山事業] 生出町・川貫・上長内・日吉・三日町・大湊・玉の脇地区
[野田村治山事業] 小谷地・城内地区

■ 産業振興について

【質問】県北地域の基幹産業の一つであるアパレル産業を盛り上げていく方策について。

【答弁】アパレル産業は高い技術力が評価されている。振興のため、技術向上や販路拡大、人材育成に取り組んでおり、県北では事業者団体が中心となり、県や教育機関と連携し「いわてアパレルフェスタ」を開催するなど積極的に活動している。東京一極集中が進む中、デザイン技術を生かせるアパレル産業は若者や女性の地元定着や移住促進に効果が期待され、令和7年度の予算案にはイベント開催や販路拡大支援を盛り込み、更なる発展を図る。

※令和7年度予算

北いわて産業成長支援事業費 600万円 アパレル・漆等いわて価値創造産業支援事業費 600万円

なかたい

岩手県議会議員 中平ひとし県政報告紙 No. 46

【発行】中平ひとし事務所 【発行者】中平ひとし

〒028-0052 岩手県久慈市本町1-5 TEL 0194-53-0111 FAX 0194-53-0136

HP: www.nakatai.net | E-mail: hitoshi@nakatai.net | Facebook: www.facebook.com/hitoshi.nakatai



Website

中平ひとし事務所



HITOSHINAKATAI

